新たに3団体と協定

市に協力 清掃ボランティアで

地域の清掃活動で那覇市と協力する「道路ボランティア」の協定調印式が七月二十八日、市役所で行われ、壺川市営駅前通り会(友利栄吉会長)、沖縄電気保安協会(我部昌宏理事長)、西3号花と緑の会(宮里多美子代表)の三団体が新たに協定を結んだ。翁長雄志市長は「協働のまちづくりがじわりじわり進んできたことを実感する」と語った。市と協定を交わした道路ボランティアは計三十八団体となった。

翁長市長(中央)と道路ボランティア協定を結んだ各団体の代表者ら=7月28日、市役所

興儀弘子副市長は「市民の活動は地域のために何かしたいという思いを生かすもの。これまで以上に美化活動に取り組み、他の地域への呼び掛けもお願いしたい」と話した。

友利会長は「市の発展や美化に協力したい」、我部理事長は「構内で年に二回だった清掃活動を月一回以上に増やし、構外にも広げたい」、宮里代表は「知識より実践が大切。知っている、考えている、やっている―をモットーに今までの活動を継続したい」とそれぞれ抱負を語った。

ボランティア団体には市が清掃用具の提供やごみ処理などで協力する。